

# ズームアップ

## 市勢発展へのご尽力に感謝



11月3日(土・祝)文化の日、市役所で、稚内市政功労者等表彰式が執り行われました。これまで、市勢発展にご尽力された13名の皆さんに、工藤市長から表彰状と記念品が手渡されました。会場には受章者をお祝いしようと多くの関係者や家族、友人の皆さんが訪れ、共に受章の喜びをわかちあっていました。

## 夢があればなんでもできる!

11月9日(金)、東中学校で「稚内市教育講演会」が開催されました。講師はロケットの研究開発で知られる(株)植松電機社長の植松努氏が務め、「夢があればなんでもできる」と題し講演。市内の教育関係者や保護者・生徒など450人に向けて、子どもたちの夢を大人がどう応援するかなど実体験に基づいた温かいアドバイスが届けられていました。



## 笑顔あふれるふれあいのとき

11月1日(木)、天北小中学校で高齢者と子どもたちの集い「カフェ天北&ふれあいの集い」が開催されました。世代を超えた「ふれあい」や「つながり」を大切に、毎年開催されているもので、児童生徒たちの歌や踊りの発表のほか、昔のあそびや、子どもたちが考えたクイズやゲームで交流。会場はたくさんの笑顔であふれていました。



## プロレスラーと真剣勝負!



11月10日(土)、東児童館を会場に、市制施行70年・開港70年を記念したチャリティープロレスが行われました。このチャリティーは児童館活用事業の一つとして「プロレスラーと遊ぼう」実行委員会が道内で活動する「北都プロレス」に協力を呼びかけて行われたものです。はじめに、児童館やスポーツ少年団の児童たちがレスラーと力比べや綱引きで対戦。その後に行われたレスラー同士の試合では、リング上で次から次へと大技が繰りだされ、客席で見ている子どもたちも思わず身を乗り出して応援するなど会場は熱気に包まれていました。

## 秋の味覚「石狩鍋」に挑戦



10月27日(土)、風〜るわっかないで「子どもの広場『サケ料理体験』」が開かれました。旬のサケを使って石狩鍋を作る調理実習で、小学5・6年生の5人が参加。講師の稚内漁協女性部の2人が、サケの身おろしを披露すると、あっという間に三枚に。これには子どもたちもびっくり! 利尻コンブで出汁をとった、美味しい石狩鍋をお昼ご飯に、皆で秋の味覚を満喫していました。

## 親子でわいわい!



10月31日(水)総合文化センターで、子育て支援センターとファミリーサポートセンター合同による交流会「わいわい交流会」が開催され、0歳から4歳までの乳幼児の親子170名が参加。親子でスキンシップを取りながら体を動かす「ふれあいあそび」や、スタッフオリジナルの人形劇などで楽しい時間を過ごしました。

## フランスとの友好を記念



11月14日(水)、15日(木)、フランス海軍軍楽隊の隊員4名ほか、フランス大使館関係者などが、ラペルーズ顕彰記念碑建立メモリアル事業の一つとして、宗谷岬公園や稚内東中学校、西條稚内店でバグパイプ演奏を披露。演奏を聴いた市民や生徒たちは、普段聴くことのないバグパイプの音色に聴き入っていました。